

昨年は、教会堂の建築のため、バザールを行えませんでした・・・

新教会堂が完成しました！！今年はやります！！ご協力どうぞよろしくお祈りします。

うまい！安い！ためになる！

教会バザール2014

バザールの目的について

今年度のバザール収益金は、主に以下の目的のために用いられます。

- ① 東日本大震災被災者・福島原発被害者のために⇒共生地域創造財団
- ② アフガンでの医療活動のために ⇒ペシャワール会へ
- ③ アジアの農業研修生支援のために⇒PHD協会へ
- ④ ホームレス自立支援のために ⇒NPO 法人 抱樸(旧：北九州ホームレス支援機構) へ
- ⑤ 「障害」者施設のために ⇒久山療育園へ、太陽パンへ
- ⑥ 海外での医療活動のために ⇒キリスト教海外医療協力会へ
- ⑦ ルワンダの平和と和解のために ⇒佐々木さんを支援する会へ
- ⑧ 東八幡キリスト教会の活動のために (新教会堂建築)

11月24日(月/休)

午前10時30分開始

今年もやります！

とれたて **新米！**

れんげ米

毎年大好評の新米を
今年もどうぞ！

11月1日より配達開始

5kg 2400円(配達無料)

数に限りあり。お早めにお申し込みを。

電話/FAX 093-651-6669

品物提供のお願い

バザールは、毎年主旨に賛同くださる多くの方々のご厚意の品物によって支えられています。今年もよろしくお祈りします。

集めている品物

- | | |
|-------------|-----------------|
| ①新品食器類 | ②タオル、毛布、シーツ類、石鹸 |
| ③新品家電 | ④新品衣類 |
| ⑤趣味の品・鞆・靴 | ⑥古本・CD・DVD |
| ⑦子ども用品・おもちゃ | |

その他なんでもOKです。

但し申し訳ありませんが、新品もしくは、それに準ずるものに限らせていただいております。(古本おもちゃは除く)。

ともかくお電話ください。頂きに伺います。どうぞ、よろしくお祈りします。(受付期間：10月21日～11月15日)

「であい」は「出会い」と書きます。これを文字通り受け止めるなら「であい」とは、待っていて、どこから降ってくるようなものではなく「出かけて行って会う」ということです。しかし、じっと待っていることの多い私たちは、出かけもせずに「出会いがない」と嘆いているのです。「皆の者、出会え！出会え！」は、時代劇のセリフですが、辞書を引くと「出会い」の慣用例としてこれが出てきます。まさしく「奥の部屋から飛び出してくる」という感じのことばです。私は、そんな掛け声が必要な時代には必要なのだと思うのです。なぜならば、私たちは出会わなくなったからです。他人を遠ざけ、出会わないようにと努力を重ねています。

なぜ、私たちは「出会わない」ようにしているのでしょうか。それは出会いが怖いからです。出会うと「損をする」と思い込んでいるからです。ですから「奥の部屋」に閉じこもり、そこそが安心して過ごせる自分だけの場所だと思いついています。確かに、小さくともそんな「自分の部屋（居場所）」が私たちに必要なのですが、そこには大きな落とし穴があります。自分の部屋にただ安住することは「危険」でもありません。いや、自分の部屋に安住し続けることはできないし、してはいけないのだと思うのです。なぜなら、人は出会いがないと生きてはいけなからです。だから、時には部屋を飛び出す勇気が必要です。「皆の者、出会え！出会え！」と一斉に外に飛び出して見る。そんな時が必要なのです。

聖書における人間観というものは次の一言に尽きます。「人が一人であるのは良くない」（創世記一章）。天地創造において神が人間を造られた際の言葉です。だから「一人で生きていける強い人間になりたい」と願ったとしても、それは叶いません。「一人で生きていくための強さを得るために聖書を読んで勉強したい」などはお門違いも甚だしい願いです。そもそも人はそのようなには創られていないのです。どんなに安心できても奥の部屋は私たちの生きる場所にはならないのです。

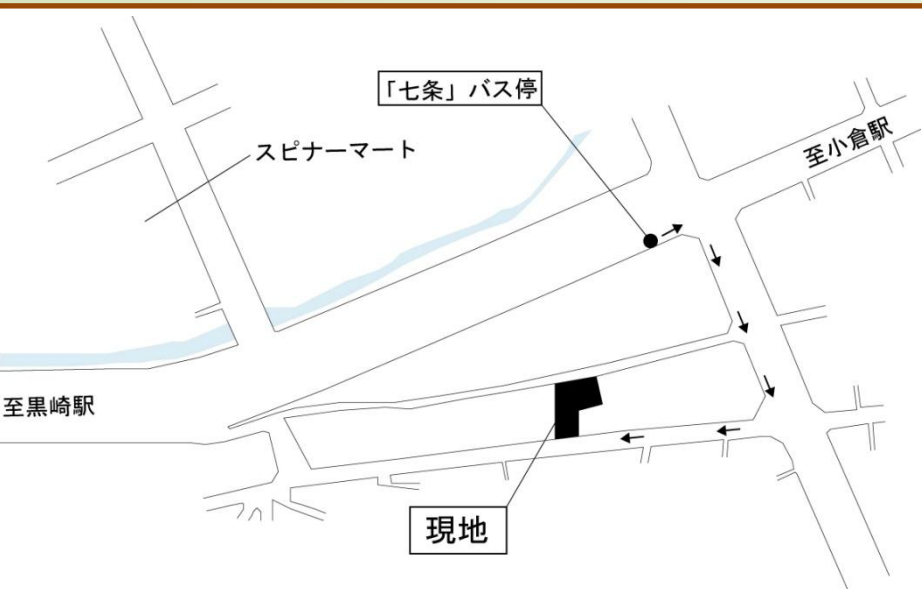
確かに、慣れ親しんだ部屋から出ることはとても不安です。広大な外界に一人歩みだす力が自分にあるとは到底思えません。しかし信じたいのです。そこには人がいることを。あなたを待っている人がいることを。すべての人が、人は独りでは生きていけないという事実の下に生きています。あなたが出会うその人も一人であることができない人です。だから、あなたとの出会い望んでいるのです。「人が一人であるのは良くない」とは、そんな風に人はお互いに出会いを必要とし、共に生きていくのだという希望を示していると思われたい。この言葉を口ずさみながら部屋を出ていきましょう。素敵な出会いがあちこちで起こります。

時には、つらい出会いもあります。傷つくことさえあります。それでもなお私たちは信じます。「一人は良くない」という神様の言葉を。私たちは、自分にとって何が良くないことであるかを知らなければなりません。「二人」これが良くない状態です。つらい出会いも一人よりましです。「二人の方が傷つかない。だから一人の方がいい」と思う日があります。しかし、その結果さらに自分を傷つけることになりかねません。恐れてはいけません。出会いの中で傷つき、出会いの中でその傷を癒すのです。

聖書の神は人と出会うために神であることを固守せず、天を出て人間の世界に來られました。結果、十字架という傷を負われましたが、その傷によって私たちは癒され救われたのです。イエス・キリストの十字架の傷は、神が私たちと出会うための証です。さあ、勇気を出して！出会うためにあなたの部屋から一歩外へ出かけてみませんか。皆の者！出会え！という言葉には、聖書が伝える福音の響きを感じます。

荒生田塾

荒田塾とは、この時代にあって「人は何のために生きるのか」を問い直す場所としての、現代における寺子屋です。「国家」「社会」「個人」のあり方が急激に変わる今、私達はいかに生きるべきか！街場に生きる人達との間で、共に語り合う場所を「軒の教会」に作りました。荒生田塾の記念すべき第1回講師は、この「軒の教会」の設計者である手塚貴晴氏です。手塚氏は、東日本大震災において、津波で立ち枯れてしまったお寺の参道の杉を使い、同じ南三陸町で被災した「あさひ幼稚園」を復活させ、この地域に喜びと希望を建築の力で見せてくれました。手塚氏は、あるインタビューで「建築には、必ずお気に入りを作る」と語っています。今を生きる中で、「お気に入りの」とは何を言うのか！青いTシャツ姿の逞しい身体から発するパワフルな語りを是非お楽しみにも！！（塾長 石山輝久）



〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2丁目1番40
電話/FAX (093) 651-6669
Email: higashiyahata.ch.1955@nifty.com
牧師: 奥田 知志 石橋 誠一
協働牧師: 藤田 英彦 森松 長生 牧野 新

「プロフェッショナル～仕事の流儀」、「情熱大陸」等出演の手塚さん来たる！



てづか たかはる
手塚 貴晴

手塚建築研究所主宰。コミュニケーション空間を創造する設計士。テレビ出演や受賞多数。東八幡キリスト教会新教会堂の設計者。

「人と建築 一のちの出会いの場所で」

第一回 荒生田塾講演会

10月18日(土)

午後3時より 手塚貴晴氏講演会

その後、奥田知志牧師との対談

10月19日(日)

午前10時半より 特別伝道集会

講師：奥田知志牧師（当教会牧師）

※いずれも入場無料。駐車場なし。

第二回 COMING SOON 第三回

生きる意味を見いだすために
脳科学からの洞察

12/13(土)
15:00~

もぎ けんいちろう
茂木 健一郎

人は何のために生きるのか

2/28(土)
15:00~
3/1(日)
10:30~

かん さんじゅん
姜 尚中

定例集会

- 主日礼拝(一般の部) 毎週日曜午前10時30分より
- 子ども礼拝(小学生以下の部) 毎週日曜日午前9時30分
- 少年少女会(中高生会) 毎週日曜日礼拝後
- 聖書の学びとお祈りの会
 - 夜の部 毎週水曜日午後7時30分
 - 昼の部 毎月第3水曜日午後1時

牧師へのご相談 随時受付中！

牧師へのご相談を受け付けています。お困りのこと、誰にも相談できないこと、何でもかまいません。一人で悩まずにご相談ください。ともかく一緒に悩みましょう！牧師には守秘義務がありますので安心して相談ください。

電話 093-651-6669